

## 守谷市教育委員会点検評価意見

点検評価委員 遠藤 一美

### 1 教育委員会

守谷市教育委員会は、「新しい時代をたくましく生きぬく人づくりを目指して」という教育目標を掲げ、その具現化のために学校教育・社会教育において守谷市独自の様々な施策を実施し、児童生徒や市民に信頼される教育を推進しています。年々、内外から高い評価を受けていることは多くの方が周知しているところです。

守谷市は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正（平成27年4月1日施行）に伴い、市長と教育委員会が地域教育の諸課題を共有するための「総合教育会議」を設置し、民意を反映した教育行政の推進に努めています。

今年も教育委員会の会議が、定例会12回、臨時会1回、協議会1回開催されています。審議案件は39件に上り、慎重かつ着実な審議が進められています。

令和元年度の決算概要を見ると、一般会計歳出総額の17.7%が教育委員会所管分の費用として使われています。教育最優先の守谷市らしい歳出状況だと思います。

### 2 学校教育課・指導室事業

#### (1) 教育環境の整備・充実

児童生徒が快適な環境下で学習できるように整備すること、また登下校の安全確保や不審者侵入等の危機管理体制の確立は、喫緊の課題です。

守谷市では、大野小学校の体育館改修、御所ヶ丘小学校の校舎改修、郷州小学校の校舎改修、黒内小学校の校舎増築等の環境整備に努めています。特に、障がいのある児童生徒に配慮した施設・設備の構築は、大いに評価したいと思います。また、学校の施設設備も30年以上の建物が4割と老朽化が見られ、守谷市では、学校施設長寿命化計画を策定し計画的な改修を進めています。膨大な経費がかかるとは思いますが、計画的なメンテナンスをお願いします。

全国で通学路での事故や事件が数多く報道されており、保護者の皆さんも不安を抱えていることと思います。学校での交通安全指導や防犯教育の強化はもちろんですが、警察や道路管理者等の関係者との連携を密にし、安全対策を講じることが大切だと思います。通学路への防犯カメラの設置を推進し、地域全体にアピールすることも予防につながると考えます。

#### (2) 学校教育プラン

##### ① ステップアッププラン（確かな学力の育成）

児童生徒に確かな学力を身に付けさせることは、学校教育の根幹です。令和元年度の茨城県学力診断テスト正答率を見ると、小中学校ともすばらしい正答率を示しています。子どもたちの学力が定着していることが分かります。一方、学力の個人差が課題となっているようです。対策としては、サタデー学習支援教室を22回実施したり、学習支援ティーチャーを各学校に29名配置して個別に支援をしています。今後も個に応じた学習支援を充実させ、一人ひとりを大事にした教育を推進してほしいと思います。

##### ② ハートフォーヒューマンプラン（豊かな心をはぐくむ教育の推進）

学校教育では、全教育活動を通して、「自分はやればできる」という自信と「みんなに必要とされている」という自己有用感を育むことが大切です。きらめきプロジェクト（守谷市保幼小中高一貫教育）を通じた道徳教育の充実や小中高合同の「きらめきフォーラム」等の体験は、意義あるものと思います。

守谷市総合教育支援センターの支援活動は、教育に悩む保護者や学校に登校でき

ない不登校児童生徒にとって、心のより所となる大切な支援活動です。

支援センターの相談実績も年々増加し800件を超え、不登校の出現率も増加の傾向にあります。スクールカウンセラーやソーシャルワーカー等の専門家と連携を図り、様々な問題行動や家庭環境等の諸問題に積極的に取り組んでほしいと思います。来訪を待つのではなく、積極的に訪問支援（アウトリーチ）を行い、子どもの気持ちに寄り添っていくことが大切です。

### ③ ヘルス&フィジカルプラン（健康と体力をはぐくむ教育の推進）

人生100年時代が叫ばれる昨今、心身ともに健康なたくましい身体づくりは、人生設計の基盤です。そのためには、食育を中心とした栄養や食物についての知識や関心を高め望ましい食習慣の定着を図ること、そして全教育活動の中で運動を取り入れ体力の向上を図る必要があります。また、運動に関心をを持たせる環境づくりが大切です。部活動については、教員のみならず、部活動指導員の積極的な導入やクラブチームへの加入等を推進し、地域での受け皿づくりも必要になると思います。

### ④ ニュージェネレーションプラン（新しい時代に対応した教育の推進）

世界経済の結びつきが深まりグローバル化が加速する中、新しい時代に対応した教育を進めることは、とても重要なことです。守谷市では自らの力で将来を切り拓いていくために、外国語教育・情報教育・環境教育・キャリア教育に力を入れています。

外国語教育においては、全小中学校に15名のALTを常駐配置し外国語に触れる場面を多くしています。このことは県インタラクティブ・フォーラムへの出場や高円宮スピーチコンテストの上位入賞という成果に表れていると思います。また、中学3年生の英検3級以上の取得率は55.3%と、すばらしい成果を収めています。先生方の指導に感謝の意を表します。

情報活用能力の育成を目指した守谷市独自のMORI・TECH（守谷型エドテック）の推進はすばらしいと思います。コロナ禍の中、オンラインは必須です。情報教育の更なる充実をお願いします。また、情報モラル教育の推進も期待しています。

### ⑤ パートナーシッププラン（開かれた学校づくりと学校・家庭・地域等の連携）

学校は地域の文化の中心的存在です。学校・家庭・地域が連携して開かれた学校づくりを進める必要があります。守谷市の学校では、信頼される学校づくりに努め、積極的な授業公開と情報発信をしています。また、学習内容に応じて地域の方々にゲストティーチャーとして授業に参加してもらっています。

各学校のホームページは毎日更新され、保護者や地域の皆さんからも好評だと聞いています。また、地域人材の活用では、スクールサポーターや学校支援ボランティアの皆さんの協力が効果的に機能しているようです。地域ぐるみで子どもたちを育てていきたいものです。

## （3）学校教育改革プラン

### ① 守谷型カリキュラム・マネジメント

教職員の働き方改革が叫ばれている昨今、守谷市では「児童生徒の学びの質の保証と児童生徒に向き合う時間の確保」を基本に、全国的に注目される守谷型カリキュラム・マネジメントを推進しています。夏季授業や前後期制の導入、県民の日や創立記念日の授業などから授業時数を確保し、週3日の5時間授業を実現しています。児童生徒のアンケートを見ると、84%の児童生徒が肯定的な回答をしています。

放課後の時間的なゆとりを、児童生徒の授業への集中・教職員の教材研究の充実に繋げていくことが大切です。

## ② 市・学校いじめ対策本部の設置

学校が子どもにとって心の居場所になるように、いじめの未然防止・早期発見・再発防止等に迅速に対応する必要があります。いじめの定義について、児童生徒・保護者・教職員それぞれが見直し、些細な兆候の段階から認知できる体制が重要です。守谷市では、年々いじめの認知件数が増えています。これは教職員のいじめへの目配りができている証拠だと思います。SNSによる陰湿ないじめについても専門家と連携しながら対応してほしいと思います。

## ③ プログラミング教育の推進

守谷市では、新しい時代に必要な情報活用能力の育成を目指して、MORI・TECHと呼ばれるプログラミング教育を推進しています。守谷スマートスクールプログラムでは、児童生徒の発達段階に応じた系統的なカリキュラムを推進しています。楽しむ・気づく・つくる・役立てるをコンセプトに系統的に学習できることは、素晴らしいと思います。また、社会に開かれた教育課程の実現を目指して、企業・団体や専門家と連携して推進していることに先進さを感じます。

## ④ 中央図書館との連携による学校図書館の充実

読書は、児童生徒の思考力・想像力を高めると言われています。中央図書館と学校図書館が連携し、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に役立てれば素晴らしいと思います。守谷型学校図書館モデルの啓発を通して、学校司書が授業づくりから、調べ学習の支援・資料の提供等に積極的にかかわっていることに素晴らしいさを感じます。

## 3 給食センター事業

給食センターでは、学校給食法で定める7つの目標の達成を目指し、着実な取り組みを進めています。特に注目したい点は、安心安全で安定した学校給食を提供するために、児童生徒からの声を反映させた献立作りや、食物アレルギーを持つ児童生徒への配慮がなされていることです。食物アレルギーによる事故を防止するために、保護者・学校・給食センターが情報を共有し「給食確認票」を作成したり、2献立制を活用したりするなどの工夫が見られます。

各市町村で課題となっている給食費未納の問題では、守谷市は給食費収納率99.8%と素晴らしい収納率です。守谷市民の意識の高さと関係の皆様の努力のおかげだと思います。

新型コロナウイルスが感染拡大している今日では、手洗い・調理用具の消毒等、衛生管理面での対策が必須です。衛生管理マニュアルを徹底し、食の安全に努めてほしいと思います。

## 4 生涯学習事業

### (1) 自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供

市民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるように生涯学習の機会や場を提供することは、大変意義深いことです。講座やイベントを組むにあたり検討会議や地域の方々に意見をいただき、市民のニーズに応じようとする努力が感じられます。参加した市民の満足度が高いのも頷けます。

子どもたちの健全育成には、学校・家庭・地域の連携が必要です。地域のシニア世代が学校を支援する制度を導入し、地域の教育力を高めることも大切です。

## (2) 生涯スポーツのきっかけづくりと自主的な活動の支援

市民アンケートによると、「日頃からスポーツを行っている市民の割合」が、31.4%で市の掲げる目標40%に満たない状況です。スポーツや運動習慣を定着するために、簡単に始められる運動の紹介などの情報提供は必要かと思います。

守谷ハーフマラソンは、全国各地のマラソン愛好者から高い評価を受けており、ボランティアスタッフの支援もすばらしいと思います。さらなる盛会を期待します。

また、常総市・坂東市と共同開催した茨城国体ハンドボールの成功おめでとうございます。国体応援ふるさと納税（クラウドファンディング）も効果的だったと思います。

## (3) 親しみを感じる芸術・文化の推進

守谷市では文化協会と連携し、芸術祭の開催、夕べのコンサートの開催、守谷市美術作家の展覧会、アーカスプロジェクトの推進等を通して、市民が芸術や文化に気軽に親しめるような機会を提供しています。楽しみにしておられる市民の皆さんのために、マンネリ化しない新たな取り組みを考えてほしいと思います。

## (4) 文化財を愛する心の育成

市の文化財の知名度を上げるため、守谷歴史さんぽ、文化財マップ、守谷ふるさとかるた、市のホームページやSNSの活用等のPR活動は評価できます。引き続き、市民が守谷に住んで良かったと実感できるまちづくりを進めてほしいと思います。

## (5) 安心して遊べる場の提供

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止で学校が休校になったため、急遽一日保育を実施していただき、ありがとうございました。公施設だけでは利用者数の増加に対応できなくなるようです。民設民営児童クラブの運営を支援できる制度設計も必要かと思います。

# 5 図書館事業

## (1) 市民の求める図書や情報の収集、提供、保存

令和元年度より運営が市直営となり、市民のニーズや要望を的確に把握した図書館運営が求められています。特に、紙媒体の資料の他に、電子図書の購入や郷土資料のデジタル化を継続的に進め、電子媒体資料を充実することは時代の流れに沿った取り組みだと思えます。

## (2) 未来を担う子どもたちの読書活動の推進と学習活動の支援

子どもたちの読書離れが叫ばれています。小学生以下の子どもたちを対象にしたブックラリーや出張おはなし会はとても良い取り組みだと思えます。できるだけ小さなうちから本に触れることが大切だと思えます。

学校への団体貸出冊数は、平成30年度の126.4%になりました。今後、学校へのクラスカードの発行や中学校へのブックパックの実施を予定しているようなので期待しています。

## (3) 市民との協働により、市民が集い、学び活躍できる場の整備

市民参加型ボランティアによるおはなし会が年間151回も実施されています。ま

た、メンバーの高齢化に対応するために、ボランティアの養成講座開催も良い取り組みだと思えます。

#### 《総括》教育委員会の全体評価

学校教育における喫緊の課題は、①いじめ問題、②児童生徒の安心・安全確保の問題、③新学習指導要領の実施（授業時数増加）、④教職員の働き方改革、⑤新型コロナウイルスへの対応の問題です。

守谷市では、「子育て王国もりや」実現に向けた学校教育改革プランを策定し、既成概念に捉われない斬新な改革を実践しています。特に「守谷型カリキュラム・マネジメント」により、前・後期制の導入、授業実施日の改革、週3日の5時間授業等の改善を図り、教育活動の質の向上や先生方や子どもたちの生活スタイルの改善の取り組みを進めています。

また、教職員の働き方の改善にも様々な手立てを講じています。タイムカードの活用、部活動ガイドラインの策定、学習支援ティーチャーの配置、ALTの全校常駐配置、いじめ対策指導員の配置、ICT指導員の導入、校務支援システムの導入等です。このような施策は先生方にとって、児童生徒に向き合う時間が増えることにつながり、大変ありがたいことだと思います。守谷市の教育は、全国からも注目され視察にくる団体も多く、評価も高いと聞いています。

守谷市教育委員会の取り組みは、将来を見通した先進的な取り組みであり、恵まれた教育環境の中で子どもたちを積極的に育てていこうという意気込みが感じられ、その姿勢は高く評価します。

今日の新型コロナウイルス感染拡大により、これまでにないウィズコロナ時代の新しい学校生活のあり方が必要になってきています。オンライン教育と対面教育の良さをうまく組み合わせた新しい教育の仕組みを構築してほしいと思います。そして未来を担う子どもたち一人ひとりを大切にしたい教育を進めてほしいと思います。